



TITLE:

京大広報 No. 338

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 338. 京大広報 1987, 338: 357-362

ISSUE DATE:

1987-10-01

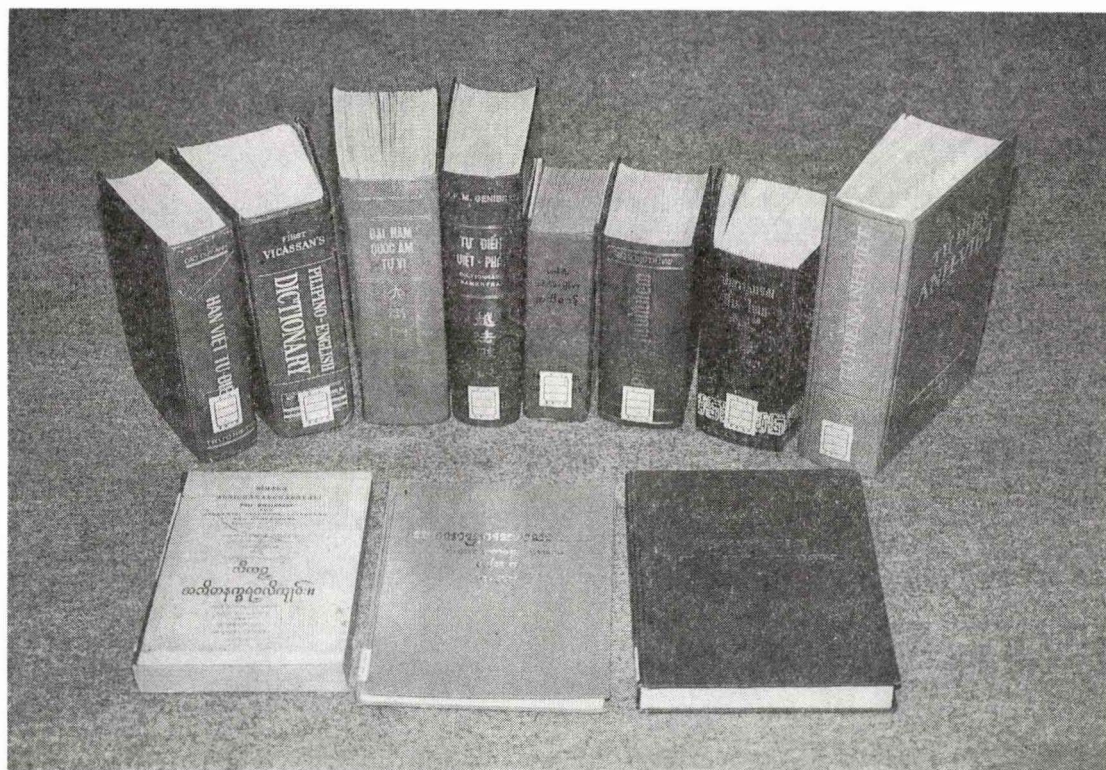
URL:

<http://hdl.handle.net/2433/209342>

RIGHT:

ファイル中には未許諾による非表示部あり.

京都大学広報委員会



—関連記事本文359ページ—

昭和62年度実施の建物等..... 362

<大学の動き>

昭和62年度京都大学市民講座

「学問と美」

本講座は、昭和54年以来毎年開かれているものであるが、本年度は創立90周年を記念して、財団法人京都大学創立七十周年記念後援会及び財団法人京大会館楽友会の協力のもとに、「学問の美」を共通テーマに下記のとおり特別講演会と市民講座を開催する。

記

【特別講演会】

Ⅰ 10月24日(土) 14:00~16:20	開講あいさつ	総 長 西 島 安 則
	文化政策の基本	京都大学 名誉教授 河 野 健 二
	京 都 と 数 学	京都大学 名誉教授 小 堀 憲

○会 場 京都産業会館シルクホール（京都四条烏丸西入 地下鉄「四条駅」下車）

○受講料 無 料 ○受講資格 制限なし。 ○定 員 760名

【市 民 講 座】

Ⅱ 10月31日(土) 13:00~16:30	美 の 学 問	文 学 部 教授 吉 岡 健 二 郎
	美 と 創 造 —数理科学の場合—	数理解析研究所 教授 荒 木 不 二 洋
Ⅲ 11月7日(土) 13:00~16:40	教 養 と 美	教育学部 教授 岡 田 渥 美
	極 微 の 美 し さ —原子・分子を視る—	化学研究所 教授 植 田 夏
	閉 講 あ い さ つ	医学部長 内 野 治 人

○会 場 農学部 W100 講義室

○受講料 1,000円 ○受講資格 制限なし。 ○定 員 310名

○特別講演会及び市民講座の申込方法

往復はがきに受講希望日（特別講演会及び市民講座の両方又は一方のみの受講いずれの場合も可）と住所、氏名、職業、電話番号を記入（返信用には郵便番号、あて名を記入）のうえ、10月15日（木）までに庶務部庶務課企画掛（内線2031）へ申し込むこと。ただし、定員に達し次第締め切る。

部 局 長 の 交 替 等

学生部長

寛田知義教養部教授（教育学）が9月16日学生

部長に再任された。任期は昭和63年9月15日までである。

< 紹 介 >

東南アジア研究センター図書室 所蔵の現地語図書資料

東南アジア研究センターでは、文部省の特別予算を得て、昭和58年度から5か年をかけて「東南アジア現地語図書整備計画」が進められている。本年度がちょうどこの計画の最終年度でもあるので、その概要を述べ、この計画によって収集された東南アジア諸国の文献資料について紹介する。

東南アジアに関する第一線の研究は、現地語資料の利用がむしろ普通と考えられる段階にあるにもかかわらず、わが国では、これまで東南アジア諸言語による文献資料がまだ組織的には収集されておらず、研究者の個人的蔵書に頼るほかはないような実情であった。それは、東南アジア諸国で出版された多くの現地語図書が、大手の書籍取次ぎ店のルートに乗らないこと、また出版形態もさまざま、ある研究分野では商業出版が必ずしも主流を占めるとはいえないこと等の、困難な事情があったことにもよる。

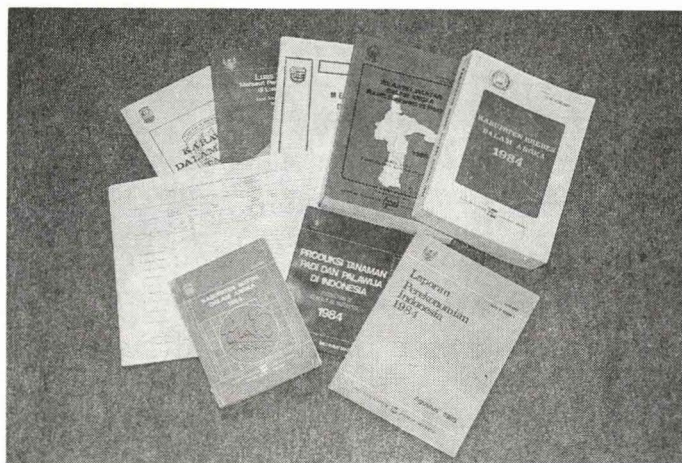
整備計画を開始して4年を経過した昭和62年4月15日現在で、図書31,513冊、マイクロフィッシュ110ケース、マイクロフィルム679リールを収集した。これらのうち収集点数が多いのはフィリピン、インドネシア、タイの3国に関する資料で、ベトナムがそれに続いている。その他はまだ数のうえでは初歩的な収集段階にあるといえるが、以下、各国別の収集状況の概要を紹介する。

タイでは、収集の主力を、歴史、民族、社会、宗教、政治においている。歴史では、『タイ国史料集成』を軸に、チュラロンコン大王時代に関する基礎資料、ダムロン親王の論

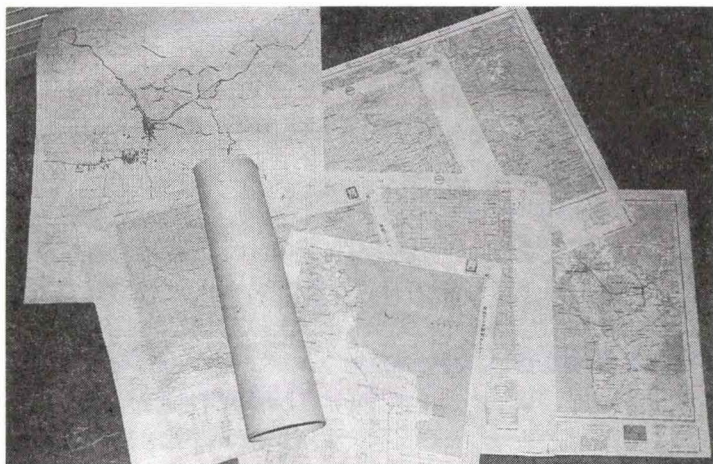
文など古典的な業績や最近の中堅・若手研究者の業績も集められている。民族・社会では、故アヌマン・ラーチャトン博士の膨大な業績を中心に、最近の社会評論家のエッセー集など、また宗教関係では、仏暦2500年（西暦1957年）を記念して出版された『南伝大蔵経』のタイ語訳45巻など、政治関係では、各種のメモワールの他、タイ政治史、日・タイ関係に関する研究などが集められた。この他、いわゆる「葬式頒布本」（「チャラット・コレクション」）の組織的収集が昭和61年度から始まっている。

インドネシアで収集された資料は多岐にわたるが、大きくは、現代インドネシアの人文・社会科学者の諸業績、現代文学、政府刊行物などのインドネシア語資料、ジャワやスマトラ、スラウェシなどの地方言語による資料、そして植民地時代の公文書や人文・社会・自然科学関係のオランダ語文献資料に分けられる。マイクロフィッシュとしては、植民地時代の『各州長官引き継ぎ文書』が中心で、文献資料の他には、スマトラを中心に航空写真や植民地時代の地図が集められている。

フィリピン関係の資料は、これまでセンターでは最も収集が遅れていたが、昭和61年度の「フ



整備計画で収集の進むインドネシアの地方統計書



資料部地図室所蔵の地形図

「ロンダ・コレクション」の購入により飛躍的な充実をみた。歴史、社会、科学、芸術、文学、民族誌、宗教などの分野に及ぶ約7,000点の図書からなるこのコレクションは、イロコス地方に関する資料がとくに豊富であること、マルコス政権下の禁書や地下出版が含まれていること、フィリピンの諸宗教に関する資料として優れていることなど、質量ともに内外に誇りうる第一級の資料集である。

紙幅の都合もあり、その他の国々については主なものを列挙するにとどめざるをえない。マレーシアでは、資料的価値の高いものとして、『王立アジア協会会報』や『サラワク博物館ジャーナル』の全巻揃が収集された。ベトナムでは、困難

な条件下で各種官庁文書、歴史学、現代政治に関する多量の図書・学術雑誌が集められた。マイクロフィルムとしては、フランスのインドシナ植民地経営に関する文書、ビルマに関しては、『セツルメント・レポート』とよばれる英国植民地政府による農業生産、土地所有、徴税などに関する調査報告が収集されている。いずれも植民地時代の社会経済史の研究に欠くべからざる貴重な資料である。

ところで、資料の収集に伴うもうひとつの重要な作業は、収集さ

れた資料の整理である。わが国の図書目録法は、伝統的に和漢書と洋書に分けられ、整理技術の理論と方法が確立しているが、そのいずれでもない東南アジア諸語による文献に関しては、これからそれらを確立しなければならない状態である。幸いにも、61年度からセンターに東南アジア諸語文献研究部門（客員部門、定員2名）が新たに設置され、それに伴い、フィリピンからは、同国第一級の書誌学者を、またタイからは中堅のカタログラーを招いている。現在、センター資料部のスタッフと協力して、東南アジア諸言語の文献学的研究並びに整理技術の研究というかなり長期的な研究に着手したところである。

（東南アジア研究センター）

計 報

大道壽美子（医学部附属病院事務官）

9月15日逝去、52歳。昭和29年医学部勤務、47年医学部附属病院に配置換。59年永年勤続者表彰（30年勤続）を受ける。

片桐 英郎（本学名誉教授・農学博士）

9月18日逝去、89歳。大正11年東京帝国大学農学部卒業。昭和4年本学農学部教授就任、35年退官。その間評議員（21年～23年）併任。35年日本学士院賞、43年勲二

等瑞宝章、57年日本学士院会員（広報No.246参照）、専門は酸酵生理及び醸造学。

上田 忠男（農学部附属農場京都事務掛長）

9月25日逝去、45歳。昭和13年工学部勤務、47年数理解析研究所に配置換、52年同研究所会計掛経理主任に昇任、その後医学部経理掛経理主任、医用高分子研究センター事務主任を経て、60年農学部附属農場京都事務掛長に昇任。59年永年勤続者表彰（20年勤続）を受ける。

<資 料>

昭和62年度実施の建物等

今年度実施の建物等は次のとおりである。

建築施設名	延面積	竣工予定 時 期	備 考
病院地区基幹環境整備	m ² —	昭和 63. 3. 31	屋外電力 線・給排 水・ガス 主管整備 等
化学研究所イオン線 形加速器実験棟	2,650	63. 9. 14	地上2階

工学部校舎（軸）	3,960	63. 11. 15	地上5階 地下1階
吉田キャンパス情報 ネットワーク	—	63. 12. 27	ディジタ ル交換機 設備取設
農学部校舎	2,000	63. 9. 14	地上5階 地下1階
超高層電波研究セン ター等研究棟	2,000	63. 11. 30	地上5階

注：表中（軸）とはコンクリート躯体工事をいう。

